

協議事項（１） 普代村総合発展計画、人口ビジョン及び総合戦略等の進捗状況について

本村では、令和３年度から令和７年度までの５年間における村づくりの基本構想と基本計画を定めた第５次普代村総合発展計画の到達目標に向けて、第５次普代村総合発展計画事業実施計画を策定し、毎年度の進捗管理を行っています。

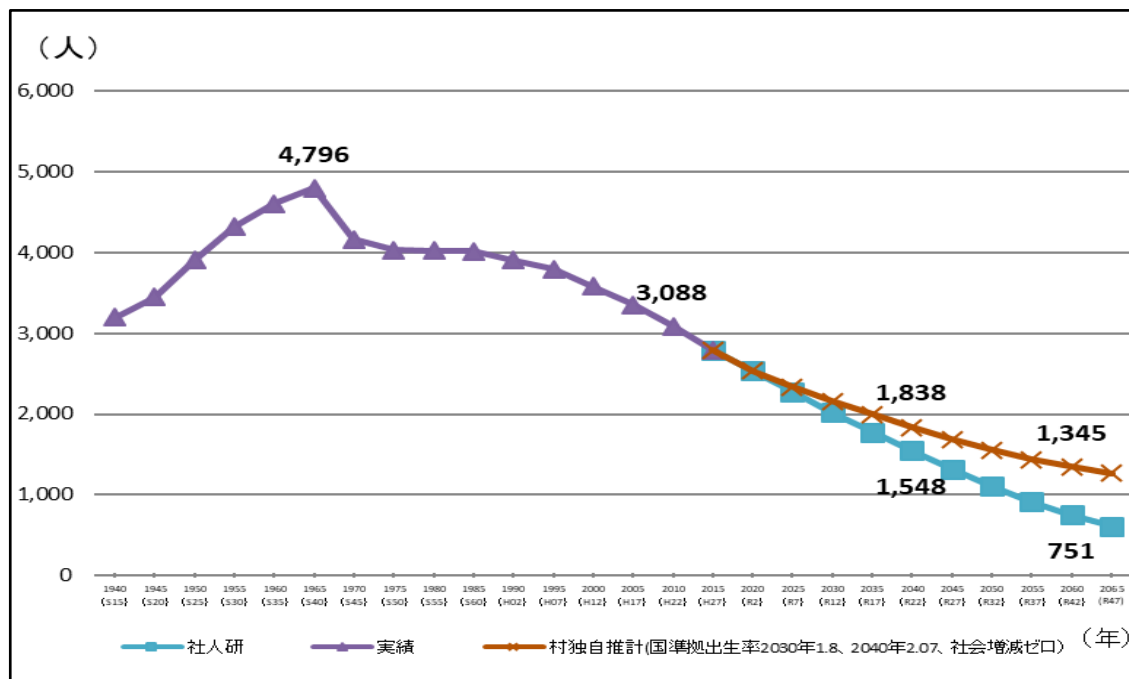
具体的には、計画に掲げる各基本施策の指標の目標値の達成状況及び個別事業の進捗状況を確認するとともに、村政懇談会や議会意見を踏まえた内部検討、中長期重点課題に係る内部協議、外部有識者会議等の意見をもとに、予算編成作業で取り組みの確認及び見直しを行っています。

今回は、令和６年度の進捗結果、令和７年度及び計画期間中全体の進捗状況について報告します。

１ 普代村人口ビジョンにおける将来人口展望と人口の現状（※資料No.1 P1）

本村の人口ビジョンにおいては、「普代村まち・ひと・しごと創生総合戦略」を国、県の戦略を勘案した中で着実に推進し、出生率を国が目標とする２０３０年（令和１２年）までに１.８、さらには、２０４０年（令和２２年）以降に人口置換水準である２.０７まで回復させる出生率の向上と、社会増減ゼロを実現し、一定の人口減少の抑制に努める中で、２０４０年（令和２２年）に１,８３８人、２０６０年（令和４２年）に１,３４５人程度の人口を確保することとしています。

【表１】 普代村人口ビジョン



本村の令和7年7月1日現在の住民基本台帳人口は、2,249人（男1,129人、女1,120人）、前年10月比△66人となり、減少要因では、自然減34人（出生4人、死亡38人）、社会減32人（転入35人、転出67人）という状況です。年齢構成では、0-4歳人口が42人（前年10月比△5人）、15-49歳女性人口が260人（前年10月比△21人）となっています。

また、村の人口減少の推移は、令和2年10月比の4年9ヵ月間で△323人、減少率12.6%という状況です。

このことから、次期総合計画等の策定においては、若者や女性がより魅力を感じられる村づくりや、今後の人口規模においても、子どもから高齢者まですべての世代が生き生きと暮らす持続可能な地域社会の実現に向けた、各種施策の検討が求められています。

【表2】 普代村人口ビジョンの状況

区分	2015年 (平成27年)	2016年 (平成28年)	2017年 (平成29年)	2018年 (平成30年)	2019年 (令和元年)	2020年 (令和2年)	2021年 (令和3年)	2022年 (令和4年)	2023年 (令和5年)	2024年 (令和6年)	2025年 (令和7年) ※R2.7.1現在	
総数	社人研推計	2,795	-	-	-	-	2,536	-	-	-	2,271	
	計画値	2,795	-	-	-	-	2,532	-	-	-	2,337	
	実績値	2,795	2,825	2,785	2,736	2,636	2,572	2,522	2,445	2,379	2,249	
	前年比	-	-	△40	△49	△100	△64	△50	△77	△66	△64	△66
0~4歳	社人研推計	77	-	-	-	-	64	-	-	-	51	
	計画値	77	-	-	-	-	60	-	-	-	61	
	実績値	77	68	74	75	62	56	59	52	50	42	
	前年比	-	-	6	1	△13	△6	3	△7	△2	△3	△5
15歳~49歳 (女性)	社人研推計	356	-	-	-	-	295	-	-	-	234	
	計画値	356	-	-	-	-	295	-	-	-	275	
	実績値	356	390	385	358	333	332	328	312	292	281	260
	前年比	-	-	△5	△27	△25	△1	△4	△16	△20	△11	△21
各年出生数	計画値	16.0	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0	12.2	12.2	12.2	12.2	
	実績値	16.0	5.0	17.0	15.0	13.0	10.0	11.0	6.0	9.0	9.0	4.0
	前年比	-	-	12	△2	△2	△3	1	△5	3	0	△5
	参考：年度実績値	5.0	12.0	16.0	12.0	14.0	10.0	7.0	8.0	8.0	10.0	

【表3】 人口減少の推移（住民基本台帳人口）

（単位：人、％）

	R 2 (10/1)	R 3 (10/1)	R 4 (10/1)	R 5 (10/1)	R 6 (10/1)	R 7 (※7/1)	増減 R2.10比
普代村	2,572 (-)	2,522 (-1.9)	2,445 (-3.1)	2,379 (-2.7)	2,315 (-2.7)	2,249 (-2.9)	-323 (-12.6)
岩手県	1,210,534 (-)	1,196,277 (-1.2)	1,180,512 (-1.3)	1,163,024 (-1.5)	1,144,407 (-1.6)	1,129,344 (-1.3)	-81,190 (-6.7)
全国	126,146,099 (-)	125,502,290 (-0.5)	124,946,789 (-0.4)	124,351,877 (-0.5)	123,801,750 (-0.4)	123,300,000 (-0.4)	-2,846,099 (-2.3)

2 第5次総合発展計画及び第2期総合戦略の「目標指標」の進捗状況

(1) 第5次総合発展計画「目標指標」の令和6年度進捗状況（※資料No.1 P2～4）

第5次総合発展計画では、5つの基本目標の中の18の基本施策に関して62指標を設定しています。基本目標ごとの各指標の進捗状況は次のとおりです。

基本目標1の「学ぶ喜びを村づくりにつなげよう」の各目標指標の進捗状況は、14指標中5指標で目標値を上回っています。

就学前教育では、コロナ禍で中止・縮小していた「はまゆり子ども園の地域イベント参加回数」が増加傾向にあります。

学校教育等では、「不登校児童生徒」が生じていないこと、GIGAスクール構想に基づき整備したICT機器の利活用も図られている状況となっています。また、義務教育学校「普代村立普代学園」が令和9年4月開校に向け、今年度より工事着手されています。

社会教育等では、各指標とも人口減少・少子化等の要因にもより伸び悩みの状況にある一方、現下の多様性社会の動向を背景に「男女共同参画社会の認識率」は高い割合となっています。

【基本目標1 学ぶ喜びを村づくりにつなげよう】

目標区分	目標指標										進捗状況 (O=達成)	
	項目	計算方法等	当初値 (R2)	実績値						目標値 (R7)		
				R3	R4	R5	R6	R7				
								令和6年度末	令和7年度			
基本目標1 学ぶ喜びを村づくりにつなげよう												
1 健康な体・豊かな心を育む就学前教育を充実する（就学前教育）												
	はまゆり子ども園の利用満足度 (※まちづくりアンケート結果)	単年	令和2年度	83.0%	-	-	-	-	-	81.9%	93.0%	
	はまゆり子ども園の地域イベント参加回数	単年	令和元年度	5回	0回	0回	5回	10回	9回		6回	O
	家庭教育セミナー等実施回数	単年	令和元年度	1回	0回	0回	0回	1回	1回		2回	
2 未来を担う子どもたちの学びの環境を充実する（学校等教育）												
	学校教育に満足している村民の割合 (※まちづくりアンケート結果)	単年	令和2年度	75.6%	-	-	-	-	-	74.9%	86.0%	
	不登校児童生徒出現率	単年	令和元年度	3.92%	4.08%	2.02%	3.68%	3.23%	0.00%		0.0%	O
	小中一貫校（義務教育学校）整備数	単年	-	-	-	-	-	-	-		1校	
	ICT活用数（小1-小3）	単年	令和元年度	月1回	月6回	月8回	月8回	毎日	毎日		週3回	O
	ICT活用数（小4-中3）	単年	令和元年度	月1回	月6回	小：月8回 中：毎日	小：月10回 中：毎日	毎日	毎日		毎日	O
3 誰もが学べる多様な学習環境を充実する（社会教育・体育、歴史・芸術文化、男女共同参画）												
	放課後子ども教室の利用満足度 (※まちづくりアンケート結果)	単年	令和2年度	77.3%	-	-	-	-	-	72.4%	88.0%	
	ふだいまなび講座参加者数	単年	令和元年度	66人	0人	0人	0人	50人	35人		100人	
	普代村図書館の図書貸出冊数 (※村民一人あたり)	単年	令和元年度	1.1冊	1.2冊	1.2冊	0.7冊	0.6冊	0.7冊		3.0冊	
	はまゆりスポーツクラブの登録者数	単年	令和元年度	189人	182人	170人	157人	150人	139人		200人	
	芸術文化協会加入団体数	単年	令和元年度	6団体	5団体	5団体	5団体	5団体	5団体		8団体	
	男女共同参画社会の認識率 (※まちづくりアンケート結果)	単年	令和2年度	37.4%	-	-	-	-	-	61.3%	50.0%	O

基本目標2の「未来を拓く活力ある産業を育てよう」の各目標指標の進捗状況は、11指標中3指標で目標値を上回っています。

水産業では、「漁業販売取扱高及び取扱数量」、「漁業就業者支援による新規就業者数」の指標は目標値を上回っているものの、近年の地球温暖化の影響により、頻発化する養殖ワカメの病害虫被害や養殖コンブの原藻先枯れ被害、主要魚種である秋サケの不漁など、本村の水産業を取り巻く環境は非常に厳しい状況にあります。

農業では、生産者の高齢化に伴う生産規模縮小により「農業粗生産額」が伸び悩むほか、「耕作放棄地面積」が拡大している状況にあります。林業では「乾しいたけ販売数量」も伸び悩みの傾向にはありますが、一定の経営体は維持されている状況にあり、継続した生産等支援に取り組んでいます。

商工業等では、高齢化に伴う廃業等により「商工会会員数」が減少傾向にある一方、起業支援事業補助金への相談件数は増加傾向にあり、1件の補助金活用が図られています。

観光では、「観光入り込み客数」、「三陸鉄道乗降客数」とともにコロナ禍以前の観光需要の回復には至っていない状況となっています。

【基本目標2 未来を拓く活力ある産業を育てよう】

目標区分	目標指標										目標値 (R7)	進捗状況 (O=達成)
	項目	計算方法等	当初値 (R2)	実績値					R7			
				R3	R4	R5	R6	令和6年度末	令和7年度			
基本目標2 未来を拓く活力ある産業を育てよう												
1 水産業の元気をつくる (水産業)												
	漁業販売取扱高 (※普代村漁業協同組合業務報告書)	単年 令和元年度	788,267千円	726,533千円	670,261千円	1,001,213千円	903,260千円	1,040,164千円		788,267千円以上	O	
	漁業販売取扱数量 (※普代村漁業協同組合業務報告書)	単年 令和元年度	6,512.5t	6,071.8t	6,388.2t	8,583.0t	5,265.7t	7,444.7t		6,512.5t以上	O	
	漁業就業者支援による新規就業者数	累計 -	-	5人	5人	5人	5人	6人		5人	O	
2 農林業の元気をつくる (農林業)												
	農業粗生産額 (※JA出荷額)	単年 令和元年度	204,529千円	185,949千円	135,180千円	135,746千円	136,730千円	146,115千円		204,529千円以上		
	耕作放棄地面積	累計 令和元年度	11.0ha	12.0ha	11.0ha	10.9ha	11.0ha	25.7ha		11ha以下		
	乾しいたけ販売数量 (※JA、久慈地方森林組合出荷数量)	単年 令和元年度	4,139.7kg	3,433.8kg	1,776.8kg	1,987.8kg	1,765.7kg	2,048.2kg		4,139.7kg以上		
3 地域に根ざした産業を守り育てる (商工業、起業促進・雇用対策)												
	商工会会員数	単年 令和元年度	101人	101人	98人	100人	101人	96人		101人以上		
	製造品出荷額 (※岩手統計年報)	単年 平成29年度	5,249百万円	4,383百万円	3,959百万円	3,385百万円	未公表	未公表		5,249百万円以上		
	村支援制度による新規起業業者数 (※普代村起業支援事業補助金)	累計 -	-	0人	0人	0人	0人	0人	1人	5人		
4 "青の国"を生かした観光の振興を図る (観光)												
	観光入り込み客数 (※岩手県観光統計)	単年 令和元年	71,200人	41,998人	45,676人	44,101人	44,254人	未公表		76,998人		
	三陸鉄道乗降客数 (※普代駅、白井駅、堀内駅)	単年 令和元年度	61,886人	48,143人	38,169人	41,403人	51,545人	55,382人		68,075人		

基本目標3の「健やかに、そして安心して暮らせる環境をつくろう」の各目標指標の進捗状況は、15指標中6指標で目標値を上回っています。

保健・医療では、「特定健康診査受診率」が43.6%と伸び悩みの傾向にあり、特に若い世代の受診率向上に取り組むこととしています。また、「医科・歯科常勤医師数」は2名と、継続した常勤医師の確保が図られています。

高齢者福祉では、生活支援コーディネーターの積極的な支援活動により「高齢者サロン実施団体数」が増加傾向にあります。

障がい者福祉では、2人の施設利用者が一般就労に移行されています。

子育て支援等では、令和4年4月から子育て世代包括支援センターが保健センター内に設置され、子育て世代のライフスタイルに応じた子育て支援の取り組みが進められています。

地域福祉では、「看護・介護・保育職養成奨学資金利用者数」は、累計で6人と年々制度活用が図られている状況にあります。

【基本目標3 健やかに、そして安心して暮らせる環境をつくろう】

目標区分	目標指標											進捗状況 (O=達成)
	項目	計算方法等	当初値 (R2)	実績値						目標値 (R7)		
				R3	R4	R5	R6	R7				
								令和6年度末	令和7年度			
基本目標3 健やかに、そして安心して暮らせる環境をつくろう												
1 心身の健やかな暮らしを支える（保健・医療）												
	特定健康診査受診率 (※国保加入者)	単年	令和元年度	45.6%	38.4%	45.8%	44.6%	45.7%	43.6%		60.0%	
	医科・歯科常勤医師数	単年	令和2年度	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	O
	医療対策に満足している村民の割合 (※まちづくりアンケート結果)	単年	令和2年度	61.8%	-	-	-	-	-	65.2%	72.0%	
2 高齢者の暮らしを支える（高齢者福祉）												
	介護予防ボランティア育成数	累計	令和元年度	27人	31人	33人	35人	35人	35人		40人	
	緊急通報システム設置数	単年	令和元年度	3台	3台	4台	8台	8台	7台		10台	
	シルバー人材センター登録者数	単年	令和元年度	43人	43人	42人	42人	47人	44人		55人	
	高齢者サロン実施地区数（団体数）	単年	令和元年度	2団体	3団体	4団体	4団体	4団体	13団体		13地区	O
3 障がい者の暮らしを支える（障がい者福祉）												
	施設入所者数（※福祉施設利用者）	単年	令和元年度	13人	13人	12人	12人	12人	10人		12人	O
	施設利用者の一般就労移行者数	累計	令和元年度	0人	0人	0人	0人	0人	2人		1人	O
	障がい者支援に満足している村民の割合 (※まちづくりアンケート結果)	単年	令和2年度	59.2%	-	-	-	-	-	65.4%	70.0%	
4 子どもを産み育てやすい環境をつくる（子育て支援、少子化対策）												
	子育て世代包括支援センター設置数	累計	令和元年度	0箇所	0箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所		1箇所	O
	保育・子育て支援に満足している村民の割合 (※まちづくりアンケート結果)	単年	令和2年度	63.0%	-	-	-	-	-	60.5%	73.0%	
5 みんなで支え合い、助け合う福祉の村をつくる（地域福祉）												
	看護・介護・保育職養成奨学資金利用者数	累計	令和元年度	3人	3人	4人	4人	5人	6人		6人	O
	ボランティア団体数	累計	令和元年度	0団体	1団体	1団体	1団体	0団体	0団体		3団体	
	成年後見センター認知度 (※アンケート結果)	単年	令和2年度	3.0%	3.0%	3.0%	10.5%	10.5%	10.5%		30.0%	

基本目標4の「自然と共生する安全で快適な環境をつくろう」の各目標指標の進捗状況は、15指標中7指標で目標値を上回っています。

自然環境等では、2050年二酸化炭素排出量実質ゼロ宣言を表明し、地球温暖化対策実行計画の策定・実行に取組み「温室効果ガス総排出削減率」は39.2%と目標値を達成しています。また、適切な指導、積極的な普及啓発活動により「生活系ごみ排出量（※1日1人あたり）」の減量化が図られてきている状況にあります。

住環境等では、村営住宅3戸が整備され入居率は100%となっています。また、計画的な事業実施により「村道改良率」、「村道舗装率」は順調に推移しています。

公共交通等では、三陸鉄道及び村営バス利用者数は減少傾向にはありますが、重要な地域公共交通の維持に向け、必要な各種支援に取り組んでいます。

消防防災等では、「自主防災組織数」、「詐欺被害の件数」が目標値を達成していますが、計画期間中の「交通死亡事故の発生件数」が累計2件と、引き続き交通安全対策の徹底を図る必要があります。

【基本目標4 自然と共生する安全で快適な環境をつくろう】

目標区分	目標指標										進捗状況 (O=達成)
	項目	計算方法等	当初値 (R2)	実績値						目標値 (R7)	
				R3	R4	R5	R6	R7			
				令和6年度末		令和7年度					
基本目標4 自然と共生する安全で快適な環境をつくろう											
1 自然と共生する（自然環境、環境衛生）											
	温室効果ガス総排出量削減率（その他部門） 【2013年基準比（1,703t-CO2）】 ※環境省「自治体排出量カルテ」における毎年の伸び率による簡易的な算定方法により算出。R5数値は事務事業編改定による実数値	単年	平成29年度	H29：24.7% (1,283.1)	H30：19.5% (1,371.6)	R01：24.9% (1,278.3)	R02：35.6% (1,096.8)	R03：28.0% (1,226.2)	R05：39.2%	R12：37.8%	O
	生活系ごみ排出量 (※1日1人あたり)	単年	令和元年度	785g	841g	738g	714g	679g	554g	636g	O
2 快適な生活環境を整備する（住環境、道路、簡易水道、汚水処理）											
	村営住宅の新規整備戸数	累計	-	-	0戸	0戸	0戸	0戸	3戸	5戸	
	新規整備村営住宅の入居率	累計	-	-	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	O
	村道改良率	累計	令和元年度	53.8%	53.8%	53.7%	53.8%	54.1%	54.1%	53.8%以上	O
	村道舗装率	累計	令和元年度	57.4%	57.5%	57.5%	57.6%	57.6%	57.6%	57.4%以上	O
	老朽水道管の残存率	累計	令和元年度	5.73%	5.15%	5.15%	5.15%	5.15%	5.40%	5.0%	
	水洗化率	累計	令和元年度	43.1%	43.6%	44.2%	45.2%	45.4%	46.9%	49.2%	
3 交通体系、情報・通信施策を充実する（公共交通、情報・通信）											
	三陸鉄道利用者数	単年	令和元年度	908,645人	635,519人	607,316人	610,118人	618,958人	603,730人	908,645人以上	
	村営バス等利用者数	単年	令和元年度	6,556人	5,820人	5,833人	5,983人	5,249人	4,374人	6,556人以上	
	インターネット等普及率 (※インターネット及びスマートフォン保有世帯)	累計	-	-	-	-	-	-	66.6%	100.0%	
4 安全・安心の村づくりを推進する（消防防災、防犯・交通安全対策）											
	消防団員数	単年	令和元年度	141人	139人	134人	134人	136人	121人	150人	
	自主防災組織数	累計	令和元年度	2団体	2団体	2団体	2団体	2団体	3団体	3団体	O
	詐欺被害の件数	累計	-	-	0件	0件	0件	0件	0件	0件	O
	交通死亡事故の発生件数	累計	-	-	1件	2件	2件	2件	2件	0件	

基本目標5の「明日を拓く持続可能な仕組みをみんなで作ろう」の各目標指標の進捗状況は、7指標中3指標で目標値を上回っています。

地域づくり等では、移住者誘致施策の推進により「地域おこし協力隊制度による定住者数」は累計11人と目標値を達成する状況となっています。なお、地域おこし協力隊任期満了後の定着率は75.0%（3／4人）となっています。

行財政では、「財政健全化判断比率の実質公債費比率」は基準未満で財政健全化が保たれていますが、「村税（現年分）の収納率」は、当初値を上回っているものの目標値に達しない状況で推移しています。また、「職員研修の実施回数」は6回と、新採用職員研修、人事評価研修、岩手県実務派遣研修など人材育成強化を図る各種研修の取り組みが実施されています。さらに、「マイナンバーカード交付率」は86.5%（保有枚数率73.9%）と、全国保有枚数率（78.2%）、岩手県保有枚数率（78.3%）を下回るものの増加傾向にあります。

【基本目標5 明日を拓く持続可能な仕組みをみんなで作ろう】

目標区分	目標指標										進捗状況 (○=達成)	
	項目	計算方法等	当初値 (R2)	実績値						目標値 (R7)		
				R3	R4	R5	R6	R7				
								令和6年度末	令和7年度			
基本目標5 明日を拓く持続可能な仕組みをみんなで作ろう												
1 村民と行政の協働の村づくりを推進する（地域づくり、移住定住、広聴・広報）												
	地域振興施策に満足している村民の割合 (※まちづくりアンケート結果)	単年	令和2年度	62.8%	-	-	-	-	-	64.9%	73.0%	
	地域おこし協力隊制度による定住者数	累計	令和元年度	3人	4人	7人	9人	10人	11人		10人	○
	村政懇談会参加者数	単年	令和元年度	165人	123人	35人 ※一部普請関係	140人	125人	128人		165人以上	
2 自立した行財政運営を推進する（行財政）												
	財政健全化判断比率の実質公債費比率	単年	令和元年度	10.2%	9.6%	9.4%	9.1%	9.3%	9.1%		15%以下	○
	村税（現年分）収納率	単年	令和元年度	96.9%	98.81%	98.35%	98.77%	98.36%	97.37%		99.3%	
	職員研修の実施回数	単年	令和元年度	2回	1回	1回	1回	3回	6回		4回	○
	マイナンバーカード交付率	単年	令和元年度	10.7%	21.4%	31.9%	63.0%	75.5%	86.5%		90.0%	

(2) 第2期総合戦略「目標指標」の令和6年度進捗状況(※資料No.1 P5)

第2期総合戦略では、4つの基本目標に関して10指標を設定しています。基本目標ごとの各指標の進捗状況は次のとおりです。

直近の「人口の社会増減ゼロ」、「人口一人当たり村民所得水準」、「合計特殊出生率」、「女性人口比率」については、目標値を下回る状況ですが、まちづくりアンケート調査結果による、「村に住み続けたい人の割合」、村外居住者の「村への愛着度が高い人の割合」は増加している状況となっています。

【第2期総合戦略】

目標区分	目標指標										目標値(R7)	進捗状況(O=達成)	
	項目	計算方法等	当初値(R2)	実績値						R7			
				R3	R4	R5	R6	令和6年度末	令和7年度				
基本目標1 “にぎわい”を創出する村づくり													
	1 水産業の元気をつくる(水産業)												
	2 農林業の元気をつくる(農林業)												
	3 地域に根ざした産業を守り育てる(商工業、起業促進・雇用対策)												
	人口の社会増減ゼロ	単年	令和元年度	△35人	△28人 (※転入62、転出40)	△35人 (※転入38、転出73)	△8人 (※転入54、転出62)	△19人 (※転入48、転出67)	△23人 (※転入53、転出76)			0人	
	人口一人当たり村民所得水準 (※市町村平均=100)	単年	平成29年度	104.7 (※3,032千円)	107.7 (※3,418千円)	97.4 (※2,706千円)	107.3 (※2,834千円)	95.9 (※2,557千円)	91.3 (※2,468千円)			100.0以上	
基本目標2 明日への希望もかなえる”つむぎ”の村づくり													
	1 誰もが学べる多様な学習環境を充実する(男女共同参画)												
	2 子どもを産み育てやすい環境をつくる(子育て支援、少子化対策)												
	3 快適な生活環境を整備する(住環境)												
	合計特殊出生率 (※保健福祉年報(人口動態編))	単年	平成30年	2.27	2.19	1.83	1.92	1.73	1.62			1.80以上	
	女性人口(15-49歳)比率 (※1960=100)	単年	2015年	34	29 (※2020調査結果推定値(102.6))	29 (※2020調査結果推定値(102.6))	29 (※2020調査結果推定値(102.6))	29 (※2020調査結果推定値(102.6))	29 (※2020調査結果推定値(102.6))			34以上	
基本目標3 ”やすらぎ”を感じ続けられる村づくり													
	1 高齢者の暮らしを支える(高齢者福祉)												
	2 障がい者の暮らしを支える(障がい者福祉)												
	3 交通体系、情報・通信施策を充実する(公共交通、情報・通信)												
	4 安全・安心の村づくりを推進する(消防防災、防犯・交通安全対策)												
	5 村民と行政の協働の村づくりを推進する(地域づくり)												
	村に住み続けたい人の割合の上昇 (※まちづくりアンケート結果)	単年	令和2年度	61.8%	-	-	-	-	-	64.1%		61.8%を上回る	○
	村を転出したい人の割合の低下 (※まちづくりアンケート結果)	単年	令和2年度	12.7%	-	-	-	-	-	8.4%		12.7%を下回る	○
基本目標4 ”つながり”が大きく広がる村づくり													
	1 誰もが学べる多様な学習環境を充実する(社会教育・体育、歴史・芸術文化)												
	2 ”青の国”を生かした観光の振興を図る(観光)												
	3 村民と行政の協働の村づくりを推進する(移住定住、広聴・広報)												
	村への愛着度が高い人の割合の上昇(村内居住者) (※まちづくりアンケート結果)	単年	令和2年度	80.2%	-	-	-	-	-	78.5%		80.2%を上回る	
	村への愛着度が高い人の割合の上昇(村外居住者) (※まちづくりアンケート結果)	単年	令和2年度	89.8%	-	-	-	-	-	95.2%		89.8%を上回る	○
	村への愛着度が低い人の割合の低下(村内居住者) (※まちづくりアンケート結果)	単年	令和2年度	17.9%	-	-	-	-	-	19.4%		17.9%を下回る	
	村への愛着度が低い人の割合の低下(村外居住者) (※まちづくりアンケート結果)	単年	令和2年度	7.7%	-	-	-	-	-	4.8%		7.7%を下回る	○

3 第5次総合発展計画及び第2期総合戦略の「事業実施計画」の進捗状況

(1) 令和6年度及び令和7年度進捗状況（※資料No.1 P6～14）

令和6年度の事業実施計画では、112事業、総事業費2,805百万円の各事業を計画し、基本目標毎の進捗状況は「表4」のとおり全体で、150事業、総事業費2,194百万円、進捗率78.2%という状況です。

また、令和7年度の事業実施計画では、113事業、総事業費629百万円の各事業を計画し、基本目標毎の進捗状況は「表5」のとおり全体で、156事業、総事業費3,157百万円、進捗率501.9%という状況です。

事業実施計画の実施時期を見直す中で令和6年度は新魚市場整備（建設事業）が完了し、令和7年度は義務教育学校整備（建設事業）が開始されています。そのほか、物価高騰など現下の社会動向に的確に対応するため、「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援事業」などの生活者支援、住対策、DX・GX推進の取り組みも進められています。

【表4】 令和6年度事業実施計画の進捗状況

（単位：百万円）

目標区分	計画値	進捗状況（決算額）	
	事業費（※事業数）	事業費（※事業数）	進捗率
基本目標1 学ぶ喜びを村づくりにつなげよう	2,267（16）	143（17）	6.3%
基本目標2 未来を拓く活力ある産業を育てよう	82（29）	1,009（41）	1,230.5%
基本目標3 健やかに、そして安心して暮らせる環境をつくろう	94（23）	182（33）	193.6%
基本目標4 自然と共生する安全で快適な環境をつくる	181（19）	399（33）	220.4%
基本目標5 明日を拓く持続可能な仕組みをみんなでつくろう	181（25）	461（26）	254.7%
計	2,805（112）	2,194（150）	78.2%

【表5】 令和7年度事業実施計画の進捗状況

（単位：百万円）

目標区分	計画値	進捗状況（7月現計予算額）	
	事業費（※事業数）	事業費（※事業数）	進捗率
基本目標1 学ぶ喜びを村づくりにつなげよう	45（14）	1,733（19）	3,851.1%
基本目標2 未来を拓く活力ある産業を育てよう	72（28）	177（39）	245.8%
基本目標3 健やかに、そして安心して暮らせる環境をつくろう	134（24）	169（31）	126.1%
基本目標4 自然と共生する安全で快適な環境をつくる	187（20）	463（35）	247.6%
基本目標5 明日を拓く持続可能な仕組みをみんなでつくろう	191（27）	615（32）	322.0%
計	629（113）	3,157（156）	501.9%

(2) 計画期間 (R3~R7) 全体の進捗状況 (※資料No.1 P 6~14)

計画期間 (R3~R7) 全体の事業実施計画では、146 事業、総事業費 7,362 百万円の各事業を計画し、基本目標毎の進捗状況は「表 6」のとおり全体で、236 事業、総事業費 9,396 百万円、進捗率 127.6%という状況です。当初計画に計上された 146 事業については、概ね順調に制度化及び事業化が図られているほか、当初計画の見直しにより新規事業として事業実施されている状況となっています。

事業実施計画期間中の前半は、台風第 19 号災害を教訓とした大規模自然災害に備えるための「浸水対策ポンプ整備事業」や「防災行政無線機能強化事業」などの防災・減災対策のほか、新型コロナウイルス感染症拡大への適切な対応をはじめ、「諸証明等コンビニ交付システム」、「村税コンビニ収納システム」の導入やオンライン環境の整備など、コロナ禍で広がる新たな生活様式への対応にも取り組んだところです。このことから、当初計画で予定した「新魚市場整備事業」及び「義務教育学校整備事業」の大規模事業の実施時期を後年度へ変更したところです。

また、後半は、原油・物価高騰など現下の社会動向に的確に対応するため、「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援事業」などによる生活者支援を重点化し取り組んでいるほか、新魚市場整備（建設事業）が完了したところです。そのほか、SDGs の普及啓発をはじめ、普代村地球温暖化対策実行計画の下「公共施設 LED 照明・空調整備」や「家庭用太陽光発電等システム導入補助」、移住・定住促進への喫緊課題となる住対策として「村営住宅建設事業」、「定住促進団地整備事業」、「空き家登録バンク制度」などの取り組みも推進しています。なお、実施時期を後年度へ変更した大型事業「義務教育学校整備事業（建設事業）」は令和 9 年 4 月開校を目指し、2 ヵ年事業として今年度工事着手しています。

【表 6】 計画期間 (R3~R7) 全体の事業実施計画の進捗状況

(単位：百万円)

目標区分	計画値	進捗状況 (7 月現計予算額)	
	事業費 (※事業数)	事業費 (※事業数)	進捗率
基本目標 1 学ぶ喜びを村づくりにつなげよう	2,682 (18)	2,093 (23)	78.0%
基本目標 2 未来を拓く活力ある産業を育てよう	1,678 (40)	2,379 (69)	141.8%
基本目標 3 健やかに、そして安心して暮らせる環境をつくろう	509 (25)	720 (47)	141.5%
基本目標 4 自然と共生する安全で快適な環境をつくる	1,360 (30)	1,838 (54)	135.2%
基本目標 5 明日を拓く持続可能な仕組みをみんなで作ろう	1,133 (33)	2,366 (43)	208.8%
計	7,362 (146)	9,396 (236)	127.6%